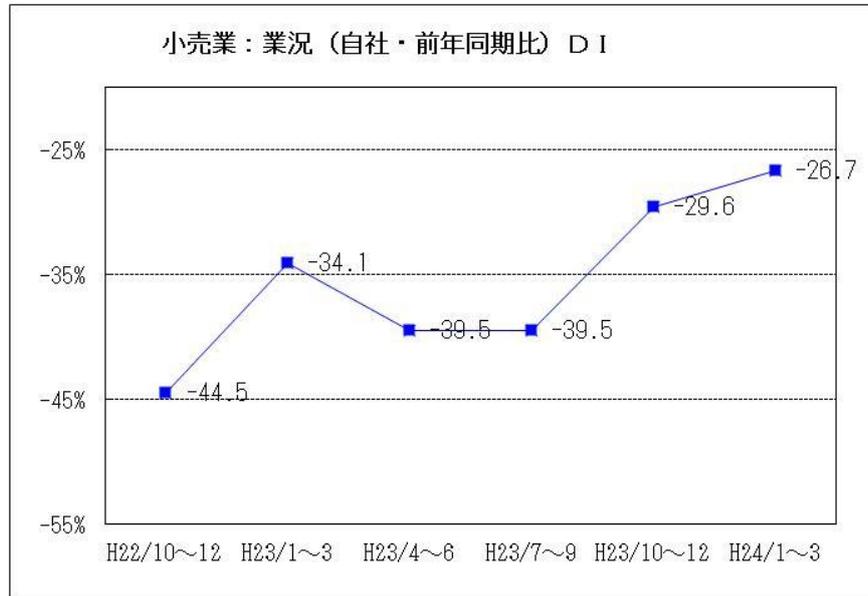


## 4. 小売業の動向

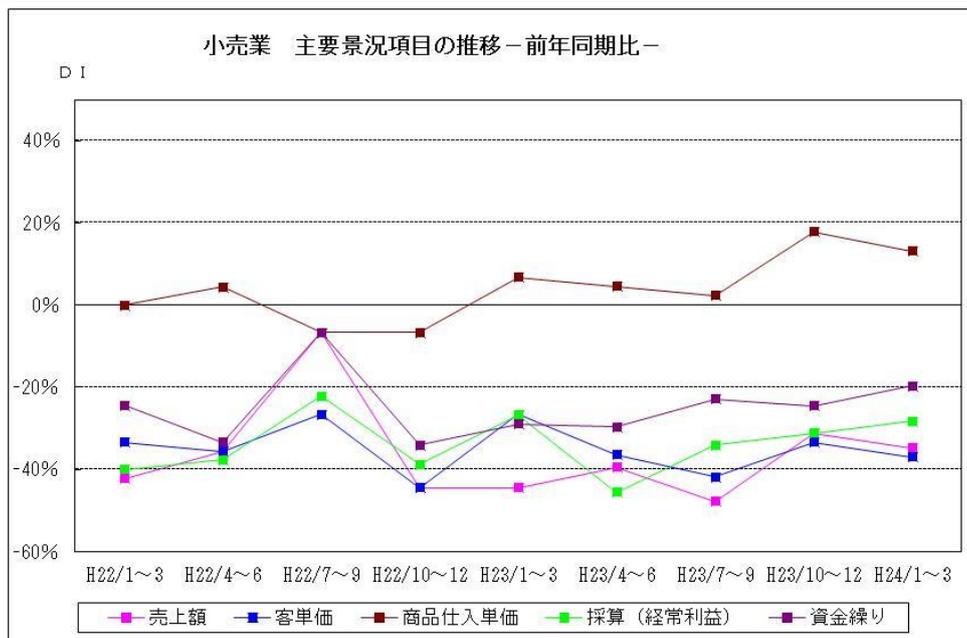
### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス26.7。前期のマイナス29.6から上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス15.9とさらに回復の見込み。



小売業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

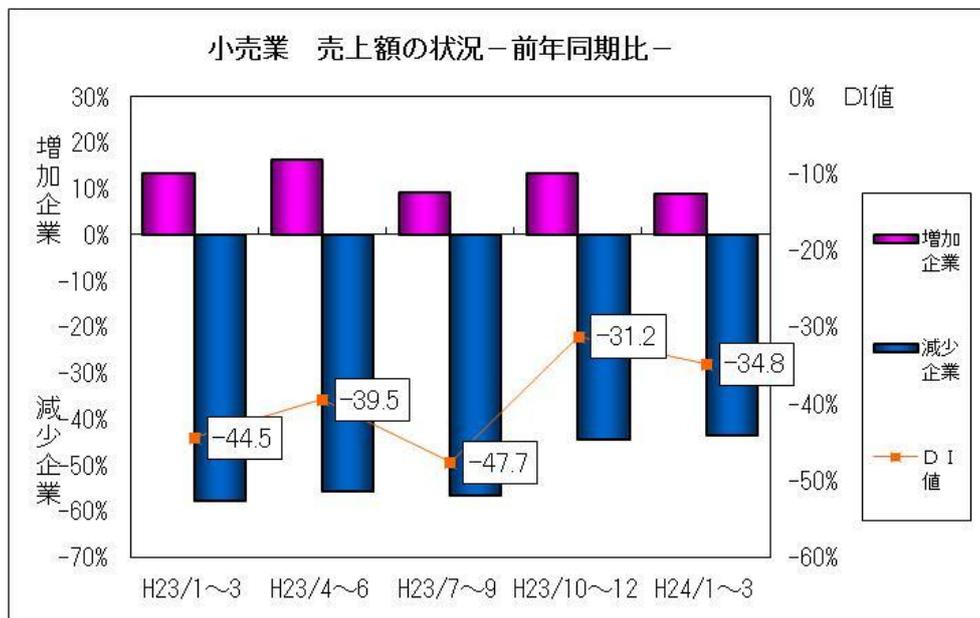
	前々期 (23年7月~9月)	前期(A) (23年10月~12月)	今期(B) (24年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上額	▲47.7	▲31.2	▲34.8	▲3.6	▲28.2
客単価	▲41.8	▲33.4	▲37.0	▲3.6	▲34.8
商品仕入単価	2.3	17.8	13.1	▲4.7	10.9
採算（経常利益）	▲34.1	▲31.2	▲28.3	2.9	▲13.1
資金繰り	▲22.8	▲24.5	▲19.6	4.9	▲15.2



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

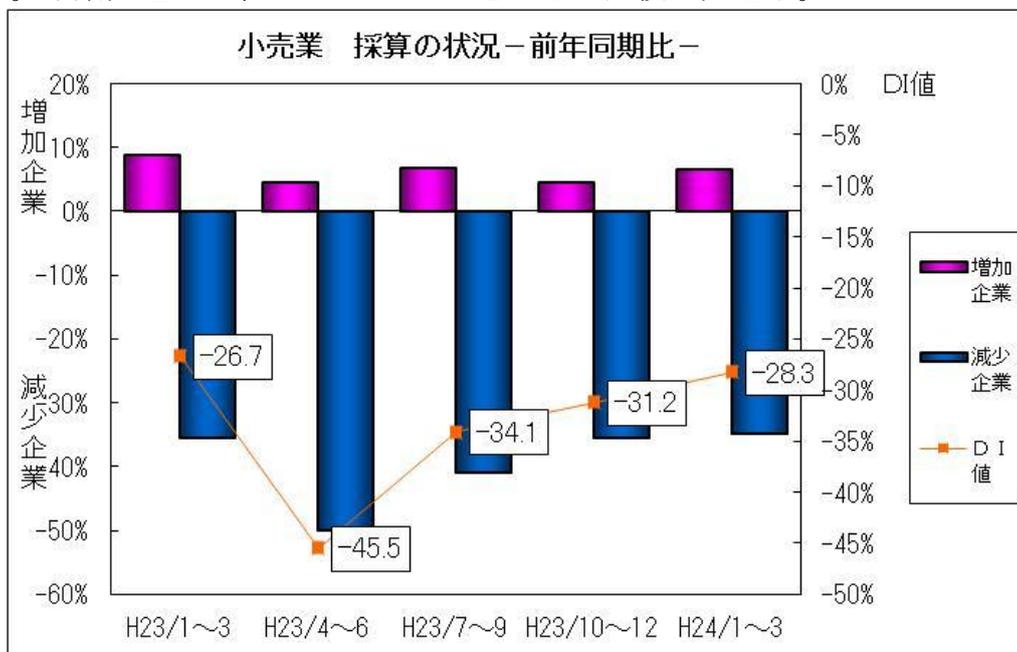
①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 34.8。前期のマイナス 31.2 から 3.6 ポイント下落した。来期見通しは、マイナス 28.2 とほぼ横ばい。



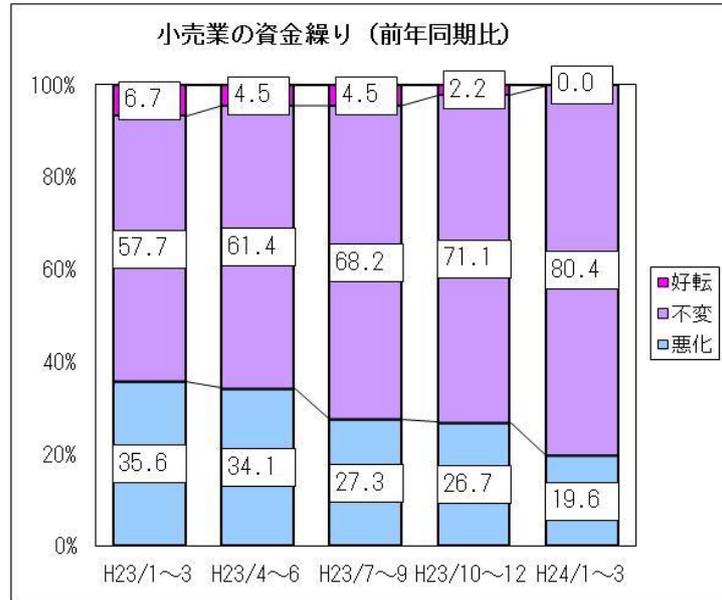
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 28.3。前期のマイナス 31.2 から 2.9 ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス 13.1 とさらに回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 24.5。前期のマイナス 22.8 から 1.7 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 8.9 と回復の見込み。

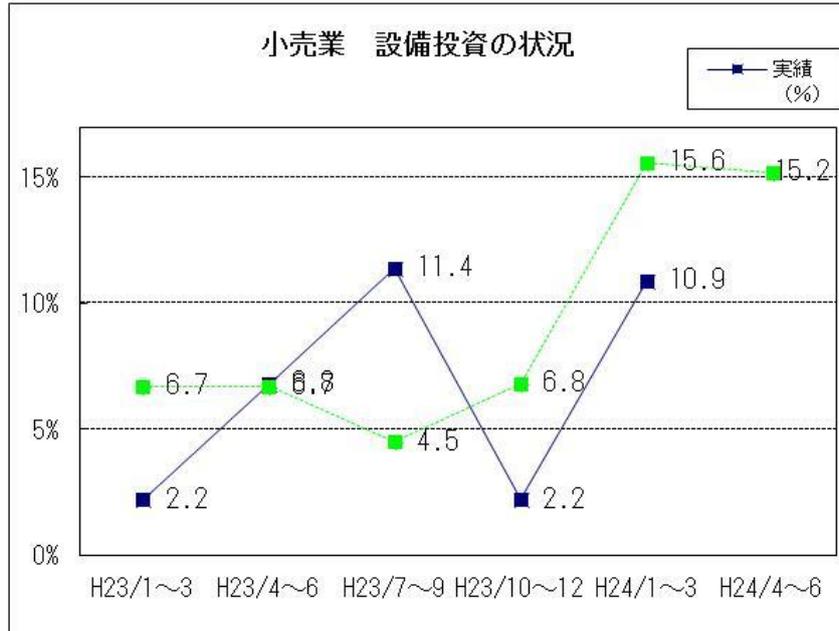


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	店 舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	44
(%)	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	97.8
今期実施 (実数)	5	1	0	1	2	1	2	0	0	41
(%)	10.9	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	89.1
来期計画 (実数)	7	0	2	4	2	1	1	1	0	39
(%)	15.2	0.0	28.6	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	84.8

今期設備投資を実施した企業は 5 社 (10.9%)。前期 (平成 23 年 10~12 月期) の実施企業 1 社 (2.2%) から大幅に下落。来期は 7 社 (15.2%) が、店舗、販売設備、車両、付帯施設、OA 機器、福利厚生施設への設備投資を計画している。



#### ⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 48.8%→今期 51.2%)
- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 41.9%→今期 46.5%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 34.9%→今期 32.6%)
- ・ 「大型店・中型店進出による競争の激化」 (前期 25.6%→今期 32.6%)

となっている。

